

もっと来たくなる場に

八代市の商店街
旧店舗設計考案

共有し、異業種間の交
流促進も目指す。住民
にも開放し、交流ス
ペースとしての活用も図

八代市が、コワーキングスペースとしての
利用を検討している同
市本町アーケードの元
衣料店舗で21日、ス
ペース内の設計を考え
るワークショップがあ
った。

ワークショップは7
月に続き2回目で、設
計を担当する熊本高専
八代キャンパス建築社
会デザイン工学科の学
生や商店街関係者など
約30人が参加した。
「もっと来たくなる
場所にする」をテーマ

に意見交換。学生らが
1回目での意見を取り
入れ、カフェや個人ブ
ース、畳敷きの空間な
どを盛り込んだ図面と
模型を示すと、参加者
から「トイレは二つほ
しい」「入り口はもっ
と広く」などの注文が
出た。学生らは今回の
意見も参考にし、さら
に設計を練り直す。

市によると、コワー
キングスペース設置に
は、立ち寄って働いて
もらうことでアーケー
ド自体を活性化させる

狙いがある。会議や打
ち合わせのスペースを
る。
(中村悠)



図面を見ながらコワーキングスペースについて意見を
交わすワークショップの参加者ら＝八代市